

2019年11月29日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

大野市と『SDGsに関する包括連携協定』を締結

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、大野市が取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）の推進に貢献するため、大野市（市長：石山 志保）と『SDGsに関する包括連携協定』を締結したことをお知らせします。

1. 協定の背景

- ・大野市では、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の推進に取り組んでいます。
- ・損保ジャパン日本興亜と大野市とが、相互に連携して地方創生のためのSDGsに取り組むことにより、地域経済の持続的成長と地域活性化に貢献するため協定の締結に至ったものです。

2. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる分野において連携を行い、以下のような業務・活動で連携します。

- （1）SDGsの情報発信及び普及啓発に関すること
- （2）健康経営に関すること
- （3）事業承継に関すること
- （4）災害対策に関すること
- （5）その他、地域活性化に関すること

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、保険会社が持つさまざまなノウハウを活かし、市民・企業へのSDGsの浸透、大野市が目指す地域経済の持続的成長と地域活性化に貢献していきます。

以上